

第9回

全固体電池学術共同研究拠点

全固体電池研究セミナー



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

電池電極の成膜プロセス革新のための スラリー、粉体技術

開催日 2024年

11月19日(火)

15:00~16:30

(受付開始14:30~)



講師 中村 浩 氏

(株式会社豊田中央研究所 理事,
スラリー研究領域リーダー)

カーボンニュートラルの流れの中で、モビリティの電動化とともに、それに必要な電池製造工場からのCO2排出の低減も求められている。電池作製工程の中で電極塗工工程の乾燥炉の乾燥や空調のエネルギーが占める割合が非常に大きい。そこでこの乾燥工程のCO2排出低減のために塗工工程でのスラリーの溶媒量の低減（高固形分濃度化）や溶媒を用いないドライ成膜が検討されている。高固形分濃度スラリーの塗工で、高品質と高性能を両立させるためには、スラリーのレオロジー挙動を制御することが重要である。また、ドライ成膜の実現のためには、粉体の複合化技術や成膜制御技術、定量評価技術が重要である。今回、成膜プロセスの革新に必要な高濃度スラリーのレオロジー制御技術、ドライ成膜の動向や具体的な必要技術を紹介する。

主催：大阪公立大学全固体電池研究所

共催：粉体工学会電池製造プロセスに関するワークショップ

申込締切 2024年11月18日(月)

参加申込フォーム

<https://forms.gle/JyfNGmFUqd1qb8ja9>



参加無料
Zoomによる
ハイブリッド開催

Zoom

ミーティング ID 914 1134 7303 パスワード 173491

お問い合わせ

大阪公立大学 全固体電池研究所

(学術共同研究拠点事務局)

Mail: gr-knky-assb@omu.ac.jp Tel:072-254-8327

会場 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス
A12棟

最寄り駅：南海高野線「中百舌鳥駅」徒歩約13分
南海高野線「白鷺駅」徒歩約7分 他

